

# OB​​D車検でレディネスが不適合とされた場合の対応について

## レディネスコード(レディネス)とは

レディネスコード(レディネス)とは、排ガス関連システムの故障診断が実行されたかどうかを示す履歴情報です。条件を満たし故障診断が実行されると、対応するシステム・装置のレディネスコードが「完了」にセットされ、また故障コード(DTC)を消去すると「未完了」にリセットされます。

## OB​​D車検におけるレディネスの不適合について

OB​​D車検では、レディネスコードが少なくとも1つ「完了」となっていることが確認されます。OB​​D車検実施の直前の作業で、排出ガス発散防止装置に関わるECU(EMS・ACM)について、故障コードの消去、またはリプログラミングを実施した場合、レディネスコードの状態がすべて「未完了」にリセットされます。このとき、OB​​D検査システム(特定DTC照会アプリ)上では、レディネスは「不適合」と表示され、OB​​D検査結果も「不適合」と表示されます。

OB​​D検査結果詳細

事業場: \_\_\_\_\_ 利用者: \_\_\_\_\_

メニューへ ログアウト

詳細内容を確認してください。

検査/確認 車台番号 型式 類別区分番号 燃料の種類

確認 軽油

### 不 適 合

排ガス (ディーゼル重車車J-OB​​D II) 特定DTC 0件 6件まで表示: 全ての特定DTCを見る場合は、右のボタンから 全ての特定DTCを見る

区分	ECU名称等	コード	名称
電圧		25.1V	
MIL		OFF	
レディネス		×	不適合
通信		成立	
特定DTC			適合

安全

通信	—	—
特定DTC	—	—

レディネスコード 10個中0個完了

凡例: 完了 未完了 未レポート

部品監視	DPFシステム	選択還元触媒 (SCR)	NOx吸蔵還元触媒
ディーゼル酸化触媒	排出ガス再循環 (EGR)システム	燃料システム	過給圧制御システム等
VVTシステム	排出ガス及び酸素センサ	ISCシステム	

## OB​​D検査システムでレディネスが「不適合」となった場合の対応

レディネスを「適合」とするためには、診断条件を満たして、排ガス関連システムの故障診断を実行させる必要があります。

シフトレバーを“N”位置にして駐車ブレーキをかけ、車両を停車させた状態で以下の診断条件を満たすことにより、故障診断を実行させることができます。

故障診断が実行されれば、レディネスの「不適合」を解消することができます。

### ■ GH13エンジン専用の診断条件

- ① 冷却水の水温が65°Cを超えるまで、エンジンを暖機運転する。(早く水温を上げるためには、エンジン回転数を高くしておくことが有効です)
- ② エンジン回転を通常のアイドル状態(自動調整)にして、水温65°C以上・エンジン回転アイドル状態(自動調整)を、連続して1分程度維持する。

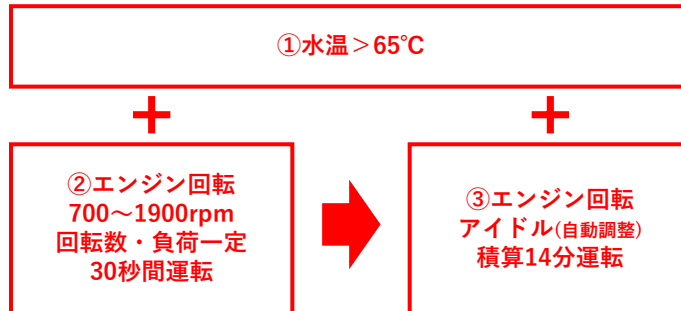
①水温 > 65°C

+

②エンジン回転  
アイドル(自動調整)  
連続して1分程度運転

## ■ GH8・GH11エンジン共通の診断条件

- ① 冷却水の水温が65°Cを超えるまで、エンジンを暖機運転する。(早く水温を上げるためには、エンジン回転数を高くしておくことが有効です)
- ② 水温65°C以上・エンジン回転数700rpm～1900rpmで、安定した状態(回転・負荷一定)を30秒間維持する。
- ③ エンジン回転を通常のアイドル状態(自動調整)に戻して、水温65°C以上・エンジン回転アイドル状態(自動調整)を、積算で14分程度維持する。(14分間継続して条件を維持する必要はなく、例えば外気温が低く水温が65°Cを下回るなど、一時的に条件から外れた場合でも、再度条件を満たすことで診断を再開することが可能です。)



GH8・GH11エンジンについては、UDPC手動再生、または、UDPCメンテナンス再生を実施することにより、故障診断を実行させる方法もあります。(再生を実施する方法については、車両に備え付けの取扱説明書のほか、整備要領書などの点検・整備用の資料をご確認ください)

## 診断条件を満たすために

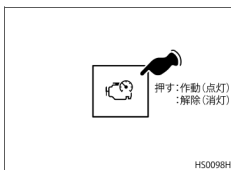
### □ エンジン回転数の調整方法について

エンジン回転数の調整・維持には、アイドリングコントロール ON/OFFスイッチ、アイドリングコントロールスイッチを使用すると便利です。

#### 取扱説明書抜粋

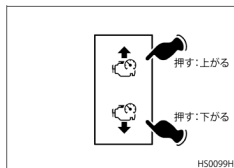
##### アイドリングコントロール ON/OFF スイッチ

- アイドリングコントロール ON/OFF スイッチを“ON”にするとスイッチが黄色く点灯し、アイドリングコントロールスイッチによるアイドリング調整ができるようになります。
- スイッチを“OFF”にしておくと、エンジン始動時などにアイドリング回転数を自動調整します。



##### アイドリングコントロールスイッチ

- エンジンのアイドリング調整のときに使用します。スイッチの上側を押すとエンジン回転が高くなり、下側を押すと低くなります。
- アイドリングコントロールスイッチは、パーキングブレーキ作動状態で、シフトレバーが“N”位置のときのみ使用できます。



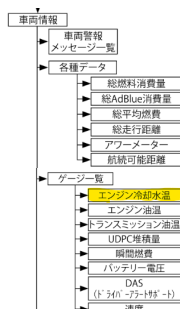
※ エンジン回転数を通常のアイドル状態(自動調整)に戻す場合は、アイドリングコントロールON/OFFスイッチの状態を“OFF”にしてください。

※ スイッチの位置・操作方法の詳細は、車両に備え付けの取扱説明書をご確認ください。

### □ 水温の確認方法について

メーターのマルチディスプレイ上に水温表示を設定することにより、おおよその水温の状態を確認することができます。

#### 取扱説明書抜粋



※ マルチディスプレイより、“車両情報”の“ゲージ一覧”から選択することにより、“エンジン冷却水温”を表示させることができます。詳細な設定方法は、車両に備え付けの取り扱い説明書をご確認ください。

※ 水温65°Cの目盛りの位置は「エンジン冷却水温」の“ン”と“ジ”の文字の間付近となります。(右図参照)

